

与那国から台湾に チャーター便が飛びます

私たちは国境の島を応援します

北海道大学スラブ研究センターならびにグローバル COE プログラム「境界研究の拠点形成」は、これまで境界研究（ボーダースタディーズ）の国内ネットワーク形成のため、境界自治体と連携しながら、国境フォーラムを開催してまいりました。（日本島嶼学会などと共催）

このたび笹川平和財団助成「境界地域研究ネットワーク JAPAN の設立」の支援のもと、ネットワークの本格立ち上げにむけて、2011年5月14日に与那国セミナーを開催するはこびとなりました。これを記念して沖縄復帰記念日にあたる5月15日に、与那国島から台湾の花蓮にチャーター便が飛びます。

CIQ の実績になるとともに隣接地域との交流を深める本プロジェクトは、境界地域の自立と発展を支えるものです。皆さまのご参加を心よりおねがい申し上げます。



【主催】チャーター便・プロジェクト実行委員会

【後援】八重山毎日新聞、八重山日報社、沖縄タイムス社、琉球新報社、琉球放送、北海道新聞社、北海道放送

フ ラ イ ト 日 時

— 沖 縄 復 帰 記 念 日 —

2011年 5月15日(日) 午後

航 路

与那国 → 花蓮
(沖縄) (台湾)

チャーター便は会議の参加にかかわらずご利用できます。この機会に国境の島・与那国にお越しいただき、そこから台湾へ足をお運びください。



関連イベント

「境界地域研究ネットワーク JAPAN・与那国セミナー」

- 第1部 「国境地域法制の再検討」
(事例発表：根室・小笠原・対馬・竹富ほか)
- 第2部 「超広域経済圏の行方」
(事例発表：稚内・福岡・八重山ほか)

日時 2011年5月14日(土) 12:30~18:00
場所 与那国町保健センター
[沖縄県八重山郡与那国町字与那国255番地]

お問合せ
北海道大学スラブ研究センター内 GCOE 事務局
[Tel] 011-706-2380 [Fax] 011-706-4952
[E-mail] gcoe-jimu@slav.hokudai.ac.jp
[web] <http://borderstudies.jp/>

主催 北海道大学グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」
北海道大学スラブ研究センター

共催 日本島嶼学会、与那国町 助成 笹川平和財団「境界地域研究ネットワークJAPANの設立」

チャーター便・プロジェクトについてのお問い合わせ

チャーター便・プロジェクト実行委員会事務局(担当:合田)
[E-mail] goda@slav.hokudai.ac.jp [Tel] 011-706-3314

チャーター便ご利用についてのお問い合わせ

中央ツーリスト やいま支店(担当:仲里)
[Tel] 0980-83-7754 [Fax] 0980-83-6654
※与那国までの国内旅行、台湾からの帰路の手続もうけたまわります